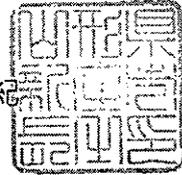


新部発第 3050 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

新庄市長 山尾 順純



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

先に依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。
よろしくご配慮の程お願い致します。

これまで、地域にあった個性ゆたかな道づくりを行うためには、クリアしなくてはならない条件が多く、特に補助事業においては実施困難な課題であったと考えます。そのために、道路整備を始めとする多くの都市施設において、身の丈に合わないものが建設され数々の無駄が指摘されている状況であります。画一的整備ではなく、地域特性に合った整備の実施と採択基準の緩和により費用便益値や整備進捗率は飛躍的に延びるものと考えます。

一方、地域の命運を左右する高速道路整備を見るに、未だに東西南北どこもつながらず、道路網においては、高速交通の時代から取り残された地域と言わざるをえません。そのため、多くの地域間格差を感じ、今後の展開においては劣勢に立たされ、そこに住む人々の不公平感を増殖させている状況であります。道路財源が圧縮される中であって、これまでの基準やスタイルでの整備では、ますますの遅れを案じるものであり、地域基準にあったコンパクトな整備により、1日も早い道路ネットワークが完成することを願うものであります。

また、本地域は全国的にも有数の豪雪地帯であります。市町村の除雪関連経費は大きく膨れ、雪対策の施策展開においては、ハード・ソフト両面において検証がなされ、やるべき手段については、ほぼ確定したものと感じております。しかしながら、効率的除雪体制を組んだとしても基本は機械除雪に依存せざるを得ない状況であります。地方の公共事業が冷え込むなか、冬季除雪を委託できる業者も減り、除雪経費も年々増加するといった2重の負担を感じております。そのため、市町村の除雪費補助制度の確立と、これまで実施されてきた雪関連事業における大幅な支援拡充をお願いするものであります。

「冬がなければ」と、これまで多くの人々が当地域を去って行く状況を早期にくい止め、誰もが喜んで田舎暮らしができるまちを建設するため、特段のお願いをするものであります。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

- 1) 東西南北どこもつながらない高速道路の存在
- 2) 年間を通じてリダンダンシーが確保されていない地域
- 3) 地域全体が特別豪雪地帯であり冬季雪対策に苦慮
- 4) 高齢化率が進むのに高次医療(救急医療)が遠い地域
- 5) 市町村合併に向け動きだした地域

自動車産業の集積が東北宮城へと移り山形への影響も少なからず発生することと思われま。しかしながら、当地域を取り巻く高速道路は未だ四方とつながらず、一旦寸断された国道は、大きく迂回を余儀なくされる状況に有ります。順番待ちでこれまで耐えてきた、当地域の実情を考慮いただきたい。

当地域は、有数の豪雪地帯であり、冬季交通弱者と言われる高齢者の多い地域で有ります。また、高次医療を受けるのに時間のかかる地域となっており、住む人にとって安心・安全の提供が確保されにくい地域といえます。

合併(最上地域)に向けた新たな動きだしのなかで、各市町村が独自に展開してきたものを組み合わせる事により、新たな地域開発が可能となるものと感じております。そのために、拠点間整備が今後必要となることが予想されます。

○課題

★施設の維持管理と整備について

これまでに建設された各種施設の維持管理や更新は、弱小自治体にとって大きな負担となっております。特に、バイパス建設等により 国・県から移管された施設の再構築や取り壊しについては、規模も大きく多くの予算が必要となります。しかしながら、建設関係予算については年々減少し、早期の対策を取ることができない状況にあります。

(ex (旧)一般国道13号泉田橋の撤去)

新規の整備においては、選択と集中により早期の完成に向けた動きが取られるようになったものの、地方の財政難による事業進捗の伸び悩みや補助要件の緩和など地域特性にあった支援をお願いしたいと感じております。

(ex 雪対策関連事業)

○田園都市新庄の建設

自然環境の恵みと、人と人の豊かなふれあいの上に、質の高い都市機能と快適性・利便性に秀でた居住環境が整い、あらゆる人が都市のにぎわいや文化的な生活と自然の豊かさ、雪とともにある暮らしを味わい楽しむことができる自然と共生した都市建設を行う。

○東北のモデルとなるコンパクトシティーの建設

都市機能の拡散に歯止めをかけるとともに、本市を取り巻く町村との合併による生活拠点間整備を実施し、まちと里が共生し、便利で暮らしやすさを実感出来るまちづくりを行う。

○雪につよいまちづくりの建設

雪国ライフを楽しめる、安心安全な都市を建設する。特に高齢化率が高くなるだろう本市においては、冬季交通弱者への対応を強固なものとし、市民協働も加え垣根のない全市雪対策システムを建設する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山形県新庄市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	高規格幹線道路及び地域高規格幹線道路の整備促進	観光交流の促進 交流圏域の拡大 企業誘致の拡大	
大規模な地震、火災に強い国土づくり	高規格幹線道路及び地域高規格幹線道路の整備促進	高次医療受診速度 緊急支援ネットワーク	
少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	高齢者、交通弱者が冬でも安全に行きかえる歩道の整備	高齢化社会において、引きこもりを解消し健康増進につなぐ	